

基礎交付金事業実績書

団体名：吉田コミュニティ運営協議会

1 総事業費 2,094,527 円

2 事業内容

(1) 事業名 コミュニティ運動会・健康推進事業

事業費	650,500 円
事業内容	◆コミュニティ運動会 開催日：令和6年10月20日(日) 午前9時から12時 会 場：吉田グラウンド 参加人数：350 名 内 容：グラウンドゴルフリレー・借り物競争・玉入れなど 8 種目 室内外両方出来る競技を準備 ◆冬期間健康増進事業『としよりの居場所づくり』 開催日：令和6年12月4日(水)から令和7年3月19日(水) 平日午前9時から12時 会 場：吉田体育館・吉田公民館・エスビー食品とよま蔵ジাম 利用者：延べ581 名 内 容：室内グラウンドゴルフ・カラオケ・DVD鑑賞 健康器具設置・セルフ喫茶コーナー ◆吉田地区世代間交流レクリエーション大会 開催日：令和7年2月9日(日) 午前9時30分から12時 会 場：善王寺コミュニティセンター 参加人数：280 人 内 容：誰もが気軽に楽しめる軽スポーツ・レクリエーション大会 今年度、参加者全員参加の「雑学○・×クイズ」を設け、米山町・吉田地区の事をクイズとした
事業成果	・吉田地区コミュニティ運動会 吉田地区民の健康意識の向上とスポーツを通じて地区民同志の親睦と融和を図るため開催。コロナ禍や、前年は延期のち雨天で中止となっていました。今年度は、雨天中止はせず、雨天の場合、体育館で出来る競技も考え、室内外両方対応できるよう準備をした。当日は晴天、吉田グラウンドで開催することができ小さく子供から高齢者の方まで、多くの方に参加いただいた。5年振りの開催となりましたが、参加者からは、皆で運動(競技)することの楽しさと大切さや、久しぶりに会う方々との交流の機会に繋がったと、来年も開催して欲しいとの意見もいただき地区民のコミュニティ事業参加の意識も高まる機会にもなった。 ・冬期間健康増進事業『としよりの居場所づくり』

	冬期間の高齢者の健康増進と憩いの場を図る目的で公民館エントランスにセルフ喫茶コーナー・健康器具設置。2階大ホールにカラオケ、体育館に室内グラウンドゴルフを準備。午前中に室内グラウンドゴルフを練習来た方々が、セルフ喫茶コーナーで休憩をし、健康増進だけではなく、交流の場を図る事も出来たと感じた。基本は午前中開放だが、午前中だけ開放だと、室内グラウンドゴルフで終わってしまい、カラオケが出来ないと意見もあり、午後に、カラオケを開放することもあった。「としよりの居場所を作ってくれてありがとう！」「ここに来ないと、家で、こたつに入りテレビを見て1日終わってしまっている。」等の声もいただき、利用者から必要として頂いていることも分かった。 ・世代間交流レクリエーション大会 冬期間運動する機会が少ない中で、暖房設備が整っている施設利用し軽スポーツ、レクリエーション大会を開催。昨年4年振りに開催してみて、今年度、全員参加型の競技を検討して欲しいとの意見もあり、米山町・吉田地区の問題を、「雑学〇×クイズ」として出し、参加者全員で楽しめる・学べる競技も設け、また、世代間で気軽に楽しめる軽競技にし、地区民及び世代間交流を図った。
--	--

(2) 事業名 地域特性事業

事業費	792,899 円
事業内容	◆歩け歩け大会（米山地区コミュニティ合同事業） 開催日：4月21日(日) 11月16日(土) 会 場：平筒沼遊歩道コース（春） 平筒沼いこいの森コース（秋） 参加人数：50名（春） 51名（秋） 内 容：健康増進を図るとともに、地区民の親睦を図る ◆盆踊り大会 開催日：8月16日(金) 会 場：吉田体育館 参加人数：380名 内 容：先祖を供養するとともに、盆踊りを通し吉田地区の交流と親睦を図る。 ◆吉田イルミネーション（点灯式） 開催日：12月5日(木)から12月25日(水) 午後4時30分から8時 点灯式：12月5日(木) 午後4時30分から5時 参加人数：60名（点灯式） 内 容：公民館壁面、事務所前花壇にLED電球や節電を考え、ソーラーLED電球を 装飾 12月5日(木)に点灯式を行い、吉田地区の子供達に参加を呼びかけ ◆吉田キッズクリスマス会 開催日：12月20日(土) 午前9時30分から11時30分 会 場：吉田公民館 大ホール

	参加人数：35 名 内 容：米山東小学校児童の異年齢交流と公民館職員の交流をクリスマス会を通して深め楽しんでもらう。 ◆吉田新春交歓会 開催日：1 月 11 日(土) 午前 11 時から 会 場：吉田公民館 大ホール 参加人数：36 名 内 容：吉田地区の仕事や地域づくりの協力を頂いているコミュニティ担い手が会し、米山地区盛上げて頂くよう交流の場として懇談会を開催。 ◆平筒沼写真コンクール 応募期間：1 月 20 日から 2 月 20 日 展示期間：3 月 14 日から 4 月 18 日 応募作品数：8 点 内 容：登米市民から平筒沼周辺の四季写真を募集、平筒沼の魅力を発信して地域活性化につなげる。 ◆吉田地域づくり活動奨励金交付事業 内 容：吉田地区 16 行政区を対象に、各行政区で行う地域の活性化を図ることを目的とした事業に活動奨励金を交付する。 ① 中埴行政区（環境整備事業） 開催日：6 月 2 日（日）参加者：30 名 ② 山吉田行政区（環境整備事業） 開催日：7 月 7 日(日) 参加者：30 名 ③ 永沢行政区（環境整備活動） 開催日：8 月 4 日(日) 参加者：31 名 ④ 畑崎行政区（環境整備事業） 開催日：9 月 8 日(日) 参加者：30 名 ⑤ 今泉行政区（今泉敬老祝賀会） 開催日：9 月 15 日(日) 参加者 48 名 ⑥ 朝来行政区（環境整備活動） 開催日：9 月 29 日(日) 参加者 44 名 ⑦ 江浪行政区（防災訓練・高齢者見守り活動） 開催日：10 月 6 日(日) 参加者：39 名 ⑧ 鈴根行政区（環境整備事業） 開催日：10 月 26 日(土) 参加者：15 名 ⑨ 中新田行政区（第 10 回中新田行政区健康まつり） 開催日：11 月 3 日(日) 参加者：45 名 ◆デマンド理解促進事業 内 容：令和 5 年度実施した住民アンケートで約 3 割の方が必要と回答、一方どちらともいえないが 5 割を占めていたこともあり、コミュニティだよりを通じ、理解促進情報発信。
--	--

	◆空き家対策事業 内 容：コミュニティだよりを通じ、理解促進情報発信。 ◆どんと祭共催事業 開催日：1月14日(火) 場 所：吉田公園 内 容：桜岡商工振興会が主体となり火災予防を主眼に30年以上続けてきた伝統行事だが、商店主さんの高齢化により単独開催が難しくなってきた事もあり地域に根付いた正月恒例行事を存続させるため、共催として参加。
事業成果	・歩け歩け大会 米山公民館、中津山公民館、吉田公民館合同事業として、年2回開催。参加者の健康増進と、親睦を図る事ができた。 ・盆踊り大会 米山東小学校生徒のソーラン披露や、地元の衣川会民謡生演奏、ゲームコーナー、飲食コーナーを準備し、多くの方に来場していただき、交流、地域の活性に繋がった。 ・吉田イルミネーション（点灯式） 電気工事業者と吉田地区の役員方にご協力を得て装飾をし、吉田地区の子供達に出席していただき、点灯式を開催、昨年度より多くの方に参加していただいた。12月5日から25日まで吉田地区の活性化と賑わいを創出。今年度より、事務所前花壇も飾り付けし、多くの方に来場いただいた。 ・吉田キッズクリスマス会 米山東学校の生徒達と吉田公民館職員でクリスマス会を開催。 物作り、ゲーム大会を通して、異年齢の交流や参加者と職員との情報交換、交流の場にも繋がった。 ・吉田新春交歓会 コミュニティ活動にご協力いただいている地域の方、又、県議会議員、市議会議員の方々にも参加いただき、地域について等、対話する場の提供にもなり、良い機会に繋がった。 ・平筒沼四季写真コンクール 今年度より、平筒沼四季をテーマにし、平筒沼周辺の写真を募集。四季折々の8点の作品が集まった。作品一つ一つ違った風景の写真で平筒沼の魅力を発信できた。 ・吉田地域づくり活動奨励金交付事業 吉田地区16行政区中9行政区の参加があり、それぞれの行政区で環境整備活動、敬老会、防災訓練、健康まつり等、行われ地域の活性化が図られた。 ・デマンド型乗合タクシー理解促進事業 毎月発行コミュニティだよりの5月号よりシリーズで4回掲載し、吉田地区住民に周知となった。 ・空き家対策事業 毎月発行コミュニティだよりの9月号によりシリーズで4回掲載し、吉田地区住民に周知となった。

	・ どんと祭共催事業 桜岡商工振興会主体もと、吉田コミュニティ安心安全部会、すこやか部会の部員におしるこ、甘酒提供、焚き場も見守り等、協力いただき、又、多くの方に来場いただき、地域の活性となった。
--	---

(3) 事業名 地域環境整備事業

事業費	60,580 円
事業内容	◆第 18 回 平筒沼ブラックバス・ブルーギル釣り大会 開催日：6 月 9 日(日) 場 所：平筒沼 参加者：32 名 内 容：吉田地区の観光資源である平筒沼を会場に、近年増殖の一途を辿っている外来種（ブラックバス・ブルーギル）を対象とした釣り大会を開催し、沼の生態系の安定を図り自然保護の一助とする。 ◆クリーンアップ作戦（年 2 回開催） 開催日：9 月 14 日(土) 参加者：58 名 開催日：3 月 15 日(土) 参加者：58 名 内 容：吉田の宝、平筒沼周辺の環境美化の為にクリーンアップ作戦。
事業成果	・ 平筒沼ブラックバス・ブルーギル釣り大会 外来種駆除により、平筒沼に多く生息するトンボ類やヤゴの保護に繋がった。定期的に開催していたこともあり、外来種の釣れる量も年々減ってる。 ・ クリーンアップ作戦 平筒沼周辺を一周散策しながら、ゴミ拾いをし、環境美化と地域住民の交流の場にも繋がった。

(4) 事業名 先進地視察研修事業

事業費	260,144 円
事業内容	◆先進地視察研修事業 開催日：6 月 20 日(木)から 21 日(金) 場 所：福島県大沼郡金山町他 参加者：16 名 内 容：地域協力隊の活動が盛んな金山町で、活動内容や広報活動を学び、地域活動に活かす。
事業成果	・ 先進地視察研修事業 地域おこし協力隊の積極的な町で地域活動の取り組みを学んだ。地域の広報活動については、絵本作家の方を、地域おこし協力隊として採用、絵本作家を十二分に発揮し、活動しているのが伺えた。町民向けの周知、広報や協力隊とは壁を作らない等、連携を重視を学んできた。又、金山町役場職員の方、地域おこし協力隊の方

	と、吉田地区の参加役員の方との親睦を深める事ができた。
--	-----------------------------

(5) 事業名 地域づくり活動発信事業

事業費	99,176 円
事業内容	◆コミュニティだよりの発行 内 容：コミュニティ事業や公民館事業等の発行を行い、地域住民への周知・参加を図る。 ◆ホームページ更新 内 容：貸館の空き状況、コミュニティ事業の開催案内、報告等。
事業成果	・活動募集や事業報告、地域住民の方に広く発信し、周知できた。 今年度より、LINEも開設し、新たな発信方法ともなる。

(6) 事業名 コミュニティ組織運営費

事業費	231,228 円
事業内容	◆理事会費用弁償 ◆職員時間外手当 ◆職員研修費日当
事業成果	・事業、研修会への参加により、参加者との交流親睦を図る事ができ、又、地域づくりについて、学ぶ事ができた。